

【知事定例記者会見】 8月19日

● 佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛を一気通貫で佐賀から世界へ

「佐賀牛®」それは佐賀が世界に誇る最高級の国産黒毛和牛

佐賀牛は、最高級の国産黒毛和牛。肉質等級が5及び4の中でBMS7以上の基準を満たし、高い評価を得ている。しかし、肥育素牛の県内自給率が低く、施設の問題で輸出用の食肉処理は他県に頼っていた。

全国有数のブリーディングステーション(佐賀牛いろはファーム)の整備

唐津市肥前町に「牛の産婦人科」であるブリーディングステーションを整備、来年から稼働する予定。肥育素牛の生産拠点として、繁殖雌牛250頭の飼養が可能になり、佐賀で子牛が産まれるようになる。

不妊牛の治療、優秀な血統の受精卵の供給にも取り組む。繁殖農家の管理技術の研修、新規就農の支援も。

キャトルステーションの稼働

「牛の保育園」と呼ばれるキャトルステーション。繁殖農家から子牛を預かり、一括管理して育成し、肥育農家に渡す。繁殖農家の労働が軽減される。

最近では1,200頭ほど受け入れ、評価の高い子牛が育っている。

佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI(仮称)」の整備

10月15日に落成式、11月から稼働予定。輸出対応型の牛処理施設にするため、牛専用を整備した。また、結露対策に空気の流れを制御する装置を導入、牛同士の交差汚染防止のため、放血方法を従来の「寝かせ方式」から「懸垂方式」にした。

佐賀の畜産は新時代を迎えます！

誕生、繁殖、肥育、輸出までを「一気通貫」して取り組む。佐賀牛の価値を上げていきたい。

● 9月23日(金・祝) いよいよ、西九州新幹線が開業します

西九州新幹線の開業により、こうなります

- ・ 武雄温泉駅は、在来特急の停車が32本から66本に増加。
- ・ 佐賀ー長崎間は、約30分短縮。
- ・ 武雄温泉ー長崎間は、最短23分。
- ・ 特急「かささぎ」(博多ー肥前鹿島間)、観光列車「ふたつ星4047」も運行開始。

新幹線の効果が、県全体に波及するよう努力する。

佐賀への旅の楽しみが広がります

西九州新幹線は速達性のある旅。新幹線で、長崎、福岡、関西方面から気軽にチョイ旅でお越しいただきたい。

一方、「かささぎ」「ふたつ星 4047」「36 ぷらす 3」、在来線の普通列車では、有明海の絶景を楽しむスローな旅が楽しめる。肥前浜駅の酒蔵通り案内、HAMA BAR でのおもてなしにも力を入れていく。

佐賀を全国に発信し、多くの観光客を呼び込むチャンス

佐賀の歴史や文化が色濃く残る土地の風土、伝統、食材、伝統工芸、在住の皆さんが魅力。インバウンドが戻ると、外国人の期待に応えられるものばかり。

佐賀だからできる本物の体験があります

絶景の中でお茶が飲めるティーツーリズム、黄金の茶室、吉野ヶ里遺跡日吉神社ゾーンでの発掘体験、干潟体験など佐賀ならではの体験ができる。

● 10月8日（土）ロマシング佐賀 2022 始動します。

新幹線の開業に併せ、佐賀－唐津線、筑肥線伊万里－唐津ルート盛り上げるためのコンテンツを用意。JR九州、各沿線自治体とも連携していく。

- 1) JR唐津線・筑肥線（山本～伊万里）全16車両をロマ佐賀でラッピング
県内の名所・名産品とサガシリーズのキャラクターをデザイン。
- 2) 沿線の各駅もロマ佐賀でラッピング
駅名標、駅メロディもコラボ。唐津駅には、ファンの交流スペースを設置。
- 3) ロマ佐賀列車沿線5駅でSAGATOCOスタンプラリーを開催
5つの駅（唐津駅・伊万里駅・多久駅・小城駅・佐賀駅）でスタンプラリー。
- 4) 新たなロマ佐賀マンホールが登場
唐津駅から唐津城までの周遊コースに7枚、佐賀駅北口のサンライズストリートに3枚を設置。
- 5) ロマ佐賀列車を周遊きっぷで想いのままに

周遊きっぷ（1月30日まで）は、連続2日間乗り放題で、大人2,500円、子ども1,250円。さらに、10月31日までのスタート割は、大人1,250円、子ども500円に。

西九州新幹線の開業を県内周遊につなげたい。

● SAGA アリーナの整備が順調に進んでいます！

SAGA アリーナの姿がここまで見えてきました

屋根の工事も進んできた。サブアリーナの床面だけで SAGA プラザ（旧佐賀総合体育館）と同じ面積。

メインアリーナは、特別な試合、コンサートや見本市ができる見せるアリーナ。

11月には“もうすぐ完成内覧会”を開催！今日から内覧希望者を募集します

コースは、サブアリーナ、2階のメインアリーナ、3階のVIPルーム、バルーンズやスプリングスのロッカールーム、メインアリーナに戻りMR体験をする。

開催日は11月12日。募集人数は、県内在住者150名（抽選）。当選者は、当日のバルーンズの試合も観戦できる。

SAGA サンライズパークストリートフェスタ開催！

サンライズパークは、歩く施策ともタイアップするので、駐車場は現状のまま。収容人数8,400人に見合う拡張はしない。駅からサンライズストリートを歩いてほしい。

10月8日～9日に佐賀バルーンズ、29日～30日に久光スプリングスの開幕戦をSAGAプラザで行う。楽しく歩くためのイベント第1弾として、鎬流神社の必勝祈願、アクティビティや自動運転のモビリティで公道での体験搭乗を用意した。

2023年春のグランドオープンに向け、いよいよ最終章へ。よいサンライズパークにしたい。

● SSP フレッシュシリーズ 2022 開幕

高校新人戦をシリーズ大会にして、モチベーションアップをはかる。会場に来られない人に対しライブ配信をする。高校生が配信に参加する。

「建築の建築」展

佐賀藩は、明治維新で鉄道や司法制度、教育制度をつくりあげた。唐津藩は、建築で大きな役割を果たした。何もなかった東京に都市計画を入れたのは唐津人。それが一目でわかる展示になっている。

辰野金吾は、東京駅や日銀本店を設計。曾禰達蔵は、丸の内のオフィス街の建築を主

導。村野藤吾は、日生劇場など多様な建築を設計した。

佐賀藩が政治的に中枢にいたころ、幕府に近かった唐津は、外国語や建築の道を歩んだことがうかがい知れる。

肥前名護屋、煌めく～豊臣秀吉と桃山文化～

黄金の茶室を復元したこともあり、桃山文化の資料・作品 45 点を 9 月 16 日から 11 月 6 日まで展示する。秀吉から送られた金の天目や陣羽織、屏風を展示。

9 月 18 日は、デヴィ夫人、本郷和人東大教授のスペシャルトークイベントを開催。黄金の茶室とともに名護屋城を盛り上げていきたい。

みんなの森 8 月 22 日(月)にオープンします

県立図書館の中の店舗だった場所に「みんなの森」をオープンする。いろいろな人が、自分の形で本が読める“さがすたいるルーム”が誕生する。

これだけ揃った専用ルームは全国初。大きな活字、触る絵本、拡大読書器、ものさし状の読書補助具がある。談話や飲食が可能。気持ちを落ち着かせるために、音や視線から遮断された空間を設ける。それぞれが読書を楽しめる空間をつくりたい。

パラスポーツ大会～みんなの大会～開催します

毎年 10 月に開催している障害者スポーツ大会を、誰もが一緒にできるスポーツをみんなで楽しむ大会として開催する。

例えば、ゴールボールはゴーグルをつける競技。見える人も視覚障害者と一緒にプレーする「みんなの大会」にしたい。

「さがすたいる」でパラアスリートの活動をサポートする。参加申込は 9 月 9 日まで。